

平成 23 年度事業概況

平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで

1. 定時会員総会に関する事項

平成 23 年 5 月 31 日、日本アクチュアリー会 大会議室にて会員総会を開催し、

- 第 1 号 平成 22 年度事業概況に関する件
- 第 2 号 平成 23 年度事業計画（案）承認の件
- 第 3 号 平成 22 年度決算承認の件
- 第 4 号 平成 23 年度予算（案）承認の件
- 第 5 号 会費分担に関する件
- 第 6 号 役員選任に関する件

を諮り、原案どおり承認された。

2. 会員の異動状況

本年度の会員の異動は、賛助会員については入会 1 法人、退会 7 法人、個人会員については入会 238 名、退会 224 名があり、平成 24 年 3 月末の会員数は、下表のとおりとなった。

入会賛助会員

プルデンシャルファイナンシャルインク日本駐在員事務所 以上 1 法人

退会賛助会員

日本興亜生命保険株式会社

あいおい生命保険株式会社

AIG エジソン生命保険株式会社

エイアイジー・スター生命保険株式会社

中央三井アセット信託銀行株式会社

株式会社リソースネット

社団法人 生命保険協会

以上 7 法人

名 誉 会 員	5 名
正 会 員	1,330
準 会 員	934
研 究 会 員	2,149
小 計	4,418
賛 助 会 員	112 法人
合 計	4,530 名・法人

3. 事業概況

〔試験関係〕

(1) 平成 23 年度資格試験の実施

平成 23 年 12 月 19 日、20 日及び 21 日の 3 日間、東京（TOC 五反田）及び大阪（天満研修センター）において実施し、平成 24 年 2 月 15 日に合格者を発表した。第一次試験の受験科目総数は 3,953 科目、うち合格科目数は 496 科目、第二次試験の受験科目総数は 882 科目、うち合格科目数は 124 科目、全科目合格者は 66 名であった。

(2) 教科書の改訂

「生保 2 第 6 章 ソルベンシー」を改訂した。

〔教育・研修・研究発表関係〕

(1) 平成 23 年度アクチュアリー講座の実施

平成 23 年 5 月 9 日から平成 23 年 10 月 20 日の期間、基礎講座 12 科目及び特論講座 8 科目を実施した。受講者数は基礎講座 161 名、特論講座 58 名であった。

(2) 平成 23 年度アクチュアリー追加演習講座の実施

平成 23 年 10 月 3 日から平成 23 年 12 月 7 日の期間、生保数理演習、損保数理演習、年金数理演習及びモデリング演習の 4 科目を実施した。受講者数は生保数理演習 44 名、損保数理演習 84 名、年金数理演習 73 名、モデリング演習 39 名であった。

(3) 平成 23 年度年次大会・IT 研究大会の開催

年次大会は、平成 23 年 11 月 8 日、9 日の 2 日間、経団連会館及び東京ステーションコンファレンスにおいて、IT 研究大会は、平成 23 年 11 月 24 日、25 日の 2 日間、三井生命本店（大手町野村ビル）において開催した。

(4) 例会の開催

① 平成 23 年 6 月 13 日

「ソルベンシー II アップデート」

Rob Curtis 氏 (KPMG)

「保険規制の進展：アジアパシフィック」

Martin Noble 氏 (KPMG)

② 平成 23 年 7 月 7 日

「Private disability products — 個人向け就業不能保険」

Dirk Nieder 氏 (Gen Re)

③ 平成 23 年 9 月 12 日

「保険会社の ERM 高度化に向けて — 監督当局の役割とアクチュアリーへの期待」

植村 信保 氏 (金融庁)

④ 平成 23 年 9 月 26 日

「経験値に影響する消費者行動要因」

Tim Rozar 氏 (RGA)

⑤ 平成 23 年 11 月 11 日 (於：日本アクチュアリー会大会議室)

「ERM Nirvana (ERM の境地)」

David Ingram 氏 (Willis Re)

⑥ 平成 23 年 12 月 2 日

「プロフェッショナルリズムの共通理解」

吉田 慶太 氏 (日本公認会計士協会)

吉村 雅明 君 (住友生命)

片寄 郁夫 君 (りそな銀行)

⑦ 平成 24 年 2 月 16 日

「中国の生命保険事情の紹介」

周 俊明 氏 (ハノーバー再保険)

(5) ムーンライトセミナーの開催

① アクチュアリー業務におけるRの活用

ASTIN 関連研究会委員及びセミナー部会委員

② 保険負債の経済価値評価における技術的課題 – リスクフリーレートを中心に

土井 和行 君 (タワーズワトソン)

③ オブジェクト指向言語入門

服部 真 君 (ジェネラル・リインシュアランス・エイジイ)

④ 損害保険における支払備金リスクの計量化手法について

セミナー部会委員

⑤ 保険会社の信用力分析における自己資本と ERM の評価

中島 彩子 氏 (スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン株式会社)

(6) プロフェッショナルリズム研修の実施

平成 24 年 2 月 22 日、正会員（今年度の資格試験で全科目に合格した準会員を含む）及び準会員（今年度の資格試験で第一次試験すべてに合格した者を含む）を対象に次の研修内容で実施した。受講修了者は正会員 15 名、準会員 51 名であった。

IAA シラバスとプロフェッショナルリズム	片寄 郁夫 君 (りそな銀行)
アクチュアリーと行動規範について	奈良 伸一 君 (明治安田生命)
生保のプロフェッショナルリズム	中村 亮一 君 (日本生命)
損保のプロフェッショナルリズム	木村 和弘 君 (日本興亜損害)
年金のプロフェッショナルリズム	片寄 郁夫 君 (りそな銀行)
	藤井 康行 君 (住友信託)

(7) アクチュアリー海外研修の実施

生保、年金、損保をテーマとする 3 組に分かれて、第 3 回アクチュアリー海外研修を実施した。生保組及び年金組は米国アクチュアリー会 (SOA) の年次大会参加を中心にシカゴにて平成 23 年 10 月 15 日から 26 日の期間で研修を行い、損保組は米国損保アクチュアリー会 (CAS) の年次大会参加を中心にシカゴ・ボストン・ニューヨークにて平成 23 年 11 月 5 日から 16 日の期間で研修を行った。参加者数は、生保組 13 名、年金組 4 名、損保組 10 名であった。

(8) e-ラーニングの導入

平成 23 年 5 月より、会員向けに e-ラーニングを開始した。

〔調査・研究活動〕

(1) 標準死亡率諮問委員会の開催

平成 23 年 10 月 21 日に開催された第 17 回標準死亡率諮問委員会において、「生保標準生命表 2007 (死亡保険用)」、「生保標準生命表 2007 (年金開始後用)」及び「第三分野標準生命表 2007」について、平成 24 年度に継続適用することが了承された。

(2) 国際会計基準・保険監督の国際基準への対応

国際会計基準及び保険監督の国際基準については、IASB（国際会計基準審議会）及び IAIS（保険監督者国際機構）において精力的な検討がなされており、それぞれの機関会員である IAA（国際アクチュアリー会）は、アクチュアリー専門職団体として、保険契約の国際会計基準（IFRS4）等に対応する国際アクチュアリー実務基準の作成・IAIS の委託研究等の活動を行っている。当会は、IAA の委員会活動に積極的に参画するとともに、国際基準対策委員会等において検討を進めている。

(3) 経済価値ベースのソルベンシー基準の検討

経済価値ベースのソルベンシー基準に関して、従来の「ソルベンシー検討WG（生保）」「ソルベンシー検討WG（損保）」に加え、「特別課題第一WG」「特別課題第二WG」「特別課題第三WG」「特別課題第四WG」「特別課題第五WG」「特別課題第六WG」を新設し、より専門性の高い課題を集中的に検討した。また、「ソルベンシー検討総務部会」を設置し、上述の6つのWGのとりまとめ・金融庁と連携した定期的な検討会への参画等を行った。

また、平成24年3月、経済価値ベースのソルベンシー規制における諸課題（①生保の保険事故発生率等、②損保の保険事故発生率等、③解約・失効等、④割引率・金利リスク等、⑤支払備金・再保険等、⑥リスク・マージン等）に関する考察について、それぞれ中間報告書にまとめ、金融庁へ提出した。

(4) 実務基準の改正

「生命保険会社の保険計理人の実務基準」、「損害保険会社の保険計理人の実務基準」及び「全国共済農業協同組合連合会の共済計理人の実務基準」について、保険業法施行規則又は農業協同組合法施行規則の改正に対応するため、平成23年12月に所要の改正を行った。

(5) ERMに関する国際資格付与の検討

従来のERM資格検討PTをERM資格委員会に改組し、「グローバルなERM資格認定に関する協定書」に基づき、日本において平成24年度から資格付与を実施するための検討を行った。

(6) 委員会等の活動

各委員会・部会・研究会・ワーキンググループ・プロジェクトチームにおいて、上述の調査・研究を含む活発な活動を行っており、その活動状況等を当会ホームページに掲載するとともに、調査・研究の成果としてまとめたものについては、当会ホームページ・会報別冊等を通じて公表した。

〔意見表明〕

(1) IAAのカウンシルでの投票（電子投票を含む）

① 平成23年4月、第30回ICA（国際アクチュアリー会議）の規則等に関して、賛成として投票を行った。

- ② 平成 23 年 7 月、翌年度の会費等に関して、賛成として投票を行った。
- ③ 平成 23 年 10 月、継続教育に関するガイドライン等に関して、賛成として投票を行った。
- ④ 平成 24 年 1 月、プロフェッショナルリズムの共通理解の達成等に関して、賛成として投票を行った。

(2) 平成 23 年 12 月、IAA に対し、公開草案「国際アクチュアリー実務基準：一般的なアクチュアリー実務」に関する意見を提出した。

(3) IAA 迅速処理案件

次の案件に対する IAA 意見について、当会からは迅速処理適用に反対する意見は表明しなかった。

- ① 平成 23 年 4 月、IAASB「コンサルテーション・ペーパー：2012～2014 年の戦略・作業計画」に対する IAA 意見
- ② 平成 23 年 4 月、IASB「金融商品：減損（公開草案への補足）」に対する IAA 意見
- ③ 平成 23 年 4 月、IAIS「保険コアプリンシプル 14」に対する IAA 意見
- ④ 平成 23 年 4 月、IAIS「保険コアプリンシプル全般」に対する IAA 意見
- ⑤ 平成 23 年 7 月、IFRS Foundation「財団評議員会の戦略レビュー報告書」に対する IAA 意見
- ⑥ 平成 23 年 8 月、IAIS「国際的に活動する保険グループ監督のための共通の枠組みに関するコンセプトペーパー」に対する IAA 意見
- ⑦ 平成 23 年 9 月、OECD/IOSP「年金基金のオルタナティブ投資とデリバティブの使用に関する優れた取組み」に対する IAA 意見
- ⑧ 平成 23 年 9 月、規制のある職種・産業に関する民間セクターのタスクフォース「金融の職種・産業の規制のコンバージェンスに関する G20 への報告」に対する IAA 意見
- ⑨ 平成 23 年 11 月、IASB「アジェンダ協議 2011-意見募集」に対する IAA 意見
- ⑩ 平成 24 年 3 月、IASB「顧客との契約から生じる収益-公開草案」に対する IAA 意見
- ⑪ 平成 24 年 3 月、Joint Forum「金融コングロマリット監督のための原則に関する諮問文書」に対する IAA 意見

〔国際関係〕

(1) IAA 活動

平成 23 年度末現在の当会の IAA 委員会の委員等は次のとおりであり、IAA の委員会活動に積極的に参画している。

Council Delegate	五十嵐 勉 君	Insurance Accounting Committee	中村 吉男 君 田口 茂 君
Presidents' Forum	野呂 順一 君	Education & Practice Subcommittee	中村 吉男 君 田口 茂 君 橋本 英司 君
Alternate Delegate Correspondent	中野 陽介 君	Insurance Regulation Committee	河野 年洋 君 橋詰 信介 君
Executive Committee	吉村 雅明 君	Reinsurance Subcommittee	河野 年洋 君
Interim Actuarial Standards Subcommittee	中村 亮一君	Solvency Subcommittee	河野 年洋 君
ERM Task Force	吉村 雅明 君	ORSA Working Group	河野 年洋 君

Insurance Accounting Task Force	中村 吉男 君 田口 茂 君 橋本 英司 君	ComFrame Task Force	河野 年洋 君 橋詰 信介 君
Social Security Task Force	坂本 純一 君	Pensions and Employee Benefits Committee	小野 正昭 君
Strategic Planning Subcommittee	河野 年洋 君	Professionalism Committee	吉村 雅明 君
Regulated Professions Task Force	河野 年洋 君	Social Security Committee	坂本 純一 君 水上 孝 君
Mortality Working Group	西村 泰介 君	Population Issues Working Group	坂本 純一 君
Accreditation Committee	五十嵐 勉 君	ASTIN (Non-Life Insurance)	森本 祐司 君
Advice and Assistance Committee	辻 芳彦 君	IAAHS (Health)	坂本 純一 君
Asia Subcommittee	吉田 英幸 君	IACA (Consulting)	吉田 英幸 君
Education Committee	村田 富生 君	IAALS (Life Insurance)	辻 芳彦 君
Syllabus Review Task Force	村田 富生 君	PBSS (Pensions, Benefits and Social Security)	坂本 純一 君
Enterprise Financial Risk Committee	吉村 雅明 君		

(2) 国際会議等への派遣等

次のとおり国際会議等に会員を派遣した。

- ① 平成 23 年 4 月 6 日～10 日 IAA 会議 (於：オーストラリア シドニー)
五十嵐 勉 君、坂本 純一 君、吉田 英幸 君、小野 正昭 君、河野 年洋 君、穴田 祐史 君、
中村 吉男 君、中村 亮一 君、吉村 雅明 君、中野 陽介 君
- ② 平成 23 年 6 月 15 日～17 日 IAIS Committee Meetings (於：マカオ)
河野 年洋 君
- ③ 平成 23 年 6 月 19 日～22 日 AFIR・ASTIN 国際会議 (於：スペイン マドリード)
森本 祐司 君、山下 実若 君
- ④ 平成 23 年 8 月 22 日～24 日 IAIS ソルベンシー小委員会 (於：スイス バーゼル)
河野 年洋 君
- ⑤ 平成 23 年 9 月 3 日～4 日 オーストラリアアクチュアリー会 ERM セミナー
松山 直樹 君、田中 千晶 君 (於：オーストラリア シドニー)
- ⑥ 平成 23 年 9 月 26 日～27 日 PBSS セクション コロキアム
小野 正昭 君、坂本 純一 君 (於：スコットランド エジンバラ)
- ⑦ 平成 23 年 9 月 28 日～10 月 2 日 IAA 会議 (於：クロアチア ザグレブ)
五十嵐 勉 君、野呂 順一 君、日笠 克巳 君、吉田 英幸 君、小野 正昭 君、坂本 純一 君、
中野 陽介 君、河野 年洋 君、橋詰 信介 君、中村 吉男 君、田口 茂 君、橋本 英司 君、
中村 亮一 君、吉村 雅明 君、村田 富生 君、辻 芳彦 君、西村 泰介 君
- ⑧ 平成 23 年 10 月 10 日～13 日 第 16 回 EAAC 会議 (於：マレーシア クアラルンプール)
田中 周二 君、長舟 貴洋 君、中野 陽介 君
- ⑨ 平成 23 年 10 月 16 日～19 日 SOA 年次大会 (於：アメリカ シカゴ)
渡辺 有史 君、吉本 力基 君
- ⑩ 平成 23 年 11 月 6 日～10 日 CAS 年次大会 (於：アメリカ シカゴ)
海老崎 美由紀 君
- ⑪ 平成 23 年 11 月 28 日～30 日 IAIS ソルベンシー小委員会 (於：スイス バーゼル)
河野 年洋 君
- ⑫ 平成 23 年 12 月 1 日 OECD ラウンドテーブル (於：フランス パリ)
河野 年洋 君

- | | | |
|---|----------------------------------|---|
| ⑬ | 平成 24 年 1 月 30 日～31 日
河野 年洋 君 | IAA ワークショップ (於：ドイツ ミュンヘン)
IAIS ソルベンシー小委員会 (於：スイス バーゼル) |
| ⑭ | 平成 24 年 2 月 20 日～24 日
河野 年洋 君 | IAIS Committee Meetings (於：スイス バーゼル) |

(3) Global ERM Webcast への参画

平成 23 年 12 月 7 日～9 日に行われた ERM に関する Webinar の開催に SOA 等とともに参画し、吉田 英幸 君 (エオン ベンフィルト ジャパン) がグローバルチェアを務めた。

〔評議員会〕

- (1) 平成 24 年 3 月 9 日に平成 23 年度評議員会を開催し、平成 23 年度事業概況、平成 24 年度事業計画 (案)、この 1 年間の活動の振り返りと今後の重点取組事項及びアクチュアリーの ERM への取組みについて審議した。

〔産学共同〕

- (1) 京都大学より保険数学の講師派遣の依頼があり、浅野 淳 君 (住友生命)、大嶋 孝造 君 (住友生命)、鈴木 浩吾 君 (大同生命)、中山 素生 君 (日本生命) 及び南 嘉博 君 (日本生命) を派遣した。
- (2) 大阪大学より保険数理の講師派遣の依頼があり、浅野 淳 君 (住友生命)、金澤 巖 君 (大同生命) 及び山内 宗幸 君 (日本生命) を派遣した。
- (3) 神戸大学より保険数理の講師派遣の依頼があり、浅野 淳 君 (住友生命) を派遣した。
- (4) 東京大学より社会数理特別講義の講師派遣の依頼があり、中村 亮一 君 (日本生命) を派遣した。
- (5) 平成 23 年 6 月 17 日に京都大学で開催されたアクチュアリー会特別講演会において、野呂 順一 君 (日本生命) 及び吉村 雅明 君 (住友生命) が講演を行った。
- (6) 平成 23 年 7 月 29 日～8 月 3 日に明治大学において開催された APRIA 年次大会の組織委員会に、野呂 順一 君 (日本生命) 及び中野 陽介 君 (日本生命) が委員として参画した。

〔表彰関係〕

- (1) 平成 22 年度資格試験成績優秀者の表彰

① 理事長特別賞・理事長賞の授与

平成 23 年 5 月 31 日に、荒川 史朗 君 (日本生命)、木村 真輔 君 (AIG エジソン生命)、中山 耕平 君 (日本生命)、藤井 毅朗 君 (あいおいニッセイ同和損害)、牧 博音 君 (第一生命) 及び松森 至宏 君 (りそな銀行) に理事長賞を授与した。理事長特別賞は該当

がなかった。

② 科目別成績優秀賞の授与

同日、次の 9 名を表彰した。

石黒 圭祐 君	(個人)	数学
近藤 健司 君	(日本興亜損害)	生保数理
斎藤 新悟 君	(個人)	生保数理
筒井 総太 君	(日本興亜損害)	生保数理
小松 里子 君	(アクサ生命)	損保数理
佐縁馬 寛 君	(日本生命)	年金数理
石島 潤也 君	(新日本監査法人)	会計・経済・投資理論
石田 高穂 君	(大同生命)	生保 1
・内 利典 君	(大同生命)	生保 2

(2) 優秀論文の表彰

平成 23 年 11 月 24 日、IT 研究大会において、次の IT 関係優秀論文 2 編を表彰した。

「デジタルテレビを用いた新たな保険ビジネス」 IT 研究会第 1 グループ

「IT 研究会の半世紀と保険会社システムのこれから (第 50 回記念テーマ)」

IT 研究会第 6 グループ

〔広報・出版活動〕

(1) 広報活動

- ① 学生向け冊子「アクチュアリー—その活躍の紹介—」の配布
- ② 主に学生を対象とした「アクチュアリーセミナー」を、平成 23 年 10 月 22 日に東京で、12 月 3 日に大阪で開催した。

(2) 情報提供機能の充実

平成 23 年 5 月より新ホームページを公開し、アクチュアリー志望者等にとってより興味深いコンテンツの充実を図るとともに、ライブラリの充実、イベントカレンダーの新設、検索機能の強化、HP 上での書籍注文機能の追加等、利便性の向上を図った。

(3) 会報等の刊行

次のとおり会報をはじめ各種の刊行物を発行した。

- ① 会 報 第 64 号
- ② 会報別冊 第 254 号 「平成 22 年度資格試験問題集」
第 255 号 「国際アクチュアリー会 アクチュアリーによる包括的リスク評価 (CARE) に関する報告書」
第 256 号 「国際アクチュアリー会 経済資本に関する専門ガイド」
第 257 号 「MCEV の実務」
第 258 号 「第 51 回 IT 研究大会報告」
- ③ アクチュアリージャーナル 第 76 号～第 79 号、特別号「リスクと保険」

〔関西支部〕

(1) 支部総会

平成 23 年 5 月 27 日、住友生命 本社にて支部総会を開催し、

第 1 号 平成 22 年度事業概況に関する件

第 2 号 平成 22 年度決算および平成 23 年度予算（案）承認の件

第 3 号 平成 23 年度事業計画（案）承認の件

を諮り、原案どおり承認された。

(2) 関西支部例会の開催

① 平成 23 年 7 月 8 日

「Pension Reform in Central and Eastern Europe: in times of Crisis, Austerity and Beyond」
廣瀬 賢一 君 (ILO 中東欧地域事務所)

② 平成 23 年 11 月 30 日

「公的年金、理解のツボ 現状とこれから」 太田 啓之 氏 (朝日新聞)

③ 平成 24 年 2 月 2 日

「国際会計基準の動向について－保険契約・金融商品等を中心に－」

浅野 紀久男 君 (明治安田生命)

④ 平成 24 年 3 月 6 日

「平成 23 年度関西支部分科会活動報告」

各分科会より報告

⑤ 平成 24 年 3 月 27 日

「保険と虚無主義～藤澤利喜太郎の思想と行動」

片山 杜秀 氏 (慶応義塾大学)

(3) 関西支部研究会活動

次の 4 分科会において研究調査活動を行った。

保険計理分科会 委員長 三谷 龍介 君 (日本生命) [9 月～11 月]

安宅 大介 君 (日本生命) [12 月～3 月]

海外年金研究会 委員長 山内 宗幸 君 (日本生命)

年金分科会 委員長 山本 和彦 君 (りそな銀行)

システム分科会 委員長 壺井 聡 君 (住友生命)

また、関西支部の会員がより専門分野の知識を身につけることを目的としたセミナー（関西セミナー）を 2 回開催した。

① 平成 24 年 1 月 27 日

「金利の期間構造モデルについて」

宮田 英明 氏 (京都大学)

② 平成 24 年 2 月 17 日

「信頼性理論における Credibility Estimator」、「信用リスク評価モデル」、

「プロビット変換を用いた死亡率の分析と予測」、「経済価値評価について」、

「ソルベンシー II におけるエコノミックキャピタル算出のための内部モデル高速化アルゴリズム～NS-アクセラレータ～」
京都大学保険ゼミ学生

(4) 関西支部アクチュアリー講座の実施

関西支部において次のとおりアクチュアリー講座を実施した。

	受講者数	講師
生保数理 (8～10 月)	2 名	鈴木 浩吾 君 (大同生命)
年金数理 (8～10 月)	7 名	山田 彩乃 君 (りそな銀行)
損保数理 (8～10 月)	6 名	恒川 啓之 君 (日本生命)